

(1) 全世界：COVID-19とインフルエンザの流行状況

COVID-19の患者数は、6月に入り欧米諸国や日本などで増加傾向にあります（米国CDC 24-6-21、ヨーロッパCDC 24-6-14、厚生労働省 24-6-21）。台湾、マレーシア、タイなどのアジア諸国でも患者数の増加がみられます（ProMED 24-6-18,19）。これから北半球では、COVID-19の夏の流行期に入るものと考えます。インフルエンザについては、南半球の温帯地域でA型の流行が発生しています（WHO influenza 24-6-23）。オーストラリアや南アフリカでは昨年と同等の患者数ですが、南米のチリなどでは増加しています。

(2) アジア：デング熱流行状況

東南アジア各国でデング熱の患者数が昨年よりも増加しています（WHO 西太平洋 24-6-13）。米国CDCは、インドネシア、シンガポール、ラオス、カンボジアを例年より患者数の多い国にリストアップしました（米国CDC 24-6-20）。南アジアでもスリランカ、バングラデシュで患者数が増加中です（ProMED 24-6-21）。なお、今年はオーストラリアでもデング熱の患者数が1000人と、例年の2倍の数になっています（WHO 西太平洋 24-6-13）。また、サモアやフィジーなど、太平洋の島国でも例年より多い患者数が報告されています。日本ではデング熱の輸入例が6月中旬までに88人で、昨年同期（31人）の倍以上になりました。

(3) アフリカ：コンゴ民主共和国のエムボックス流行

アフリカ中部のコンゴ民主共和国では23年9月からエムボックス（サル痘）の患者が増加しており、今年5月末までに患者数は7851人、死亡者数は384人になりました（WHO 24-6-14）。同国で流行しているエムボックスの病原体は、22年から世界で流行しているウイルスと別系統のウイルスで、致死率がより高くなります。当初は性行為などで拡大していましたが、最近は患者との接触による子どもの感染が増えており、現在の患者の4割近くは5歳以下の小児です。他国への流行拡大はみられていませんが、WHOは監視を強化しています。

(4) 北米：米国で鳥インフルエンザH5N1型の3例目発生

米国ではウシの間でH5N1型ウイルスの流行が発生しており、病牛を処理した労働者への感染も報告されています。5月には3例目の患者がミシガン州で発生し、オセルタミビル服用で改善しました（米国CDC 24-5-30）。今までの患者は結膜炎のみでしたが、今回の患者は発熱や急性呼吸器症状がみられています。いずれの患者も、病牛を処理する際に十分な感染防御措置をとっていませんでした。

(5) 中南米：メキシコで鳥インフルエンザH5N2型の患者発生

今年4月にメキシコシティで、59歳の男性が鳥インフルエンザH5N2型に感染し、死亡しました（WHO 24-6-5）。メキシコでは家禽などの間でH5N2型ウイルスの流行が起きており、この患者は病気の家禽から感染したとみられています。H5N2型のヒトへの感染例は今回が初めてです。

(6) 中南米：デング熱患者が急増

中南米では6月中旬までにデング熱の患者数が930万人まで増加し、昨年の年間累積患者数（460万人）の2倍になりました（米州保健機関 24-6-18）。このうち4500人以上が死亡しています。ブラジルなど南米の患者数が大多数ですが、メキシコ、グアテマラなど中米諸国でも6月になり患者数が増えています（英国NaTHNaC 24-6-20）。

・日本国内での輸入感染症の発生状況（2024年5月13日～6月9日）

最近1ヶ月間の輸入感染症の発生状況について、国立感染症研究所の感染症発生動向調査を参考に作成しました。

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr-dl/2024.html>

(1) 経口感染症：輸入例としてはコレラ2人、細菌性赤痢1人、腸管出血性大腸菌感染症13人、腸チフス2人、パラチフス1人、アメーバ赤痢4人、ジアルジア症2人、A型肝炎3人、E型肝炎1人が発生しています。腸管出血性大腸菌感染症は、韓国での感染が8人と多くなっています。

(2) 昆虫が媒介する感染症：デング熱は20人発生し、前月（19人）と大きな変化はありませんでした。感染国は前月と同様にインドネシアが13人と多くなっています。マラリアは2人で、アフリカ（ルワンダ、ナイジェリア）での感染でした。チクングニア熱は1人で、インドでの感染でした。

(3) その他：麻疹の輸入例は3人で、感染国はマレーシア（2人）とタイでした。ライム病が1人報告されており、ルーマニアでの感染でした。ブルセラ症が2人報告され、いずれも中国での感染でした。本症はヤギ、ヒツジ、ウシなどの乳や肉を非加熱の状態で経口摂取して感染し、発熱を起こします。